



# 総合計画基本構想決まる

## — 自然公園・コミュニティの育成 ・市民参加の市政を新重点に —

かねて十日町市総合計画審議会に諮問していた「十日町市総合計画基本構想」が、八月二十八日、市長に答申されました。市では、この答申を受けて、地方自治法の規定により市議会に提案し、九月十七日、満場一致で議決されました。

今後この構想にそって基本計画、実施計画を策定し、活気ある産業田園文化都市をめざした市政が行われることとなります。

今月号はこの基本構想の内容を特集でご紹介します。



### 市の将来像は 産業田園文化都市

十日町市は、雪と織物のまちです。主産業の織物は、年産六百五十億円の出荷額を誇り、日本の伝統的な服飾文化をつくりだすファッション産業として定着しています。また、全国屈指の豪雪都市であり、全国六百四十六市のうちでただ一市、地方交付税の積雪度級地が八級地に指定されているほどです。

農業を生産基盤とし、織物を

#### 市づくりの方向

●魚沼、東頸城地方の中核都市として若者が定着し、市民の一

### 構想の実現にまい進

市長 晴里正典

この基本構想は、目標を昭和七十年におき、今後、六十五年を目標とした基本計画、三カ年ごとにローリングしてゆく実施計画を策定してまいります。

基本構想の策定にあたっては、二十名の総合計画審議委員の力がたがたから貴重なご指導をいただき、ご意見を頂だいし、また、市内の十三カ所で広聴会を開催し、広く市民の皆さんの要望に耳を傾け、できるだけ計画に反映させたつもりであります。

この計画の新しい特徴は、つぎの三点があげられます。(一)新しいコミュニティの形成に積極的に取りくむこと。(二)市民参加の市政をおし進めること。(三)当市の六十五割を占める森林、原野を活用し、自然保護との調

#### 市の将来像

市づくりの方向にそって建設される市の将来像は「生活環境が整備」され「健康でやすらぎのある市民生活」が送れ「地域に根ざした個性豊かな人づくり」を進め「産業の確立」した産業田園文化都市です。

#### 社会経済指標

人口は、昭和七十年に五十年の九・五%増の五万五千人になり、世帯数では一万六千百世帯になると予測しています。年齢



市では、五月にプロジェクトチームを編成し、総合計画の策定作業を進めてまいりました。ご承知のように、今までの基本構想は、昭和六十年までを展望して行われていたものですが、オイルショック以来、経済事情が変化し、生活状態も質的な変化をしております。日本全国が高度成長から安定成長へと転換せざるを得ない状態になっております。また、基準年次もだいぶ経過しており、基本構想の修正をしなければならぬということでもとめたものです。

一人一人が夢と誇りをもって住みつきたくするような人間尊重のまちづくり

●伝統的な織物産業と農業が調和して農工一体となったまちづくり

●雄大な自然や風土、長い歴史に育まれた文化や伝統を活かした個性豊かなまちづくり

●まちづくりは市と市民の共同作業、できあがったまちは、市と市民の共同作品という考えかたにたつ市民参加のまちづくり

整をはかりながら、市民の憩いの場、観光資源として活用する自然公園(森林公園)計画です。

この構想にもられた数多い事業を実現してゆくことは、今日の自治体の財政事情からみて、容易なことではありません。しかし、それは、市民生活の現状をかえりみる時、ぜひとも実現が必要なことでもあります。私は、この計画実現のために、勇気ある決断力と旺盛な実行力を発揮して参る所存であります。

市づくりは、市当局の努力のみではできないものではありませんが、市民こそ市づくりの主役であり、行政との水ももらさぬ連携によって、はじめてよい市づくりが可能なるものだと考えます。十日町市が、住みよく、活気ある産業田園文化都市として未来に伸びてゆくために、市民各位の一層のご協力をお願いいたします。

当間山ろくに親子熊が出没しています。キノコ取りには十分ご注意下さい。

得と県民所得の間になると予測しています。

### 生活圏の設定

地域社会の変動やモータリゼーションの普及などによって集落単位の人のつながりから広域市町村圏までその目的に応じてさまざまな共同体が形成されています。構想では、生活圏を、集落、基礎集落圏、一、二次生活圏、広域市町村圏の六段階にわけてそれぞれの生活圏に必要な施策をとるとしています。また、新しいコミュニティの形成には積極的に取り組みます。

## 都市基盤を整備

躍動する都市の実現をはかるには、その基盤となる土地利用をはじめとした基礎的条件を整備しておくことが必要であり、整備にあたっては、公共の福祉を優先し、長期的な展望にたつて総合的、計画的に進めるものとしていきます。また、本市は、人間環境地帯という地理的、自然的に不利な条件を背負っているため、雪の克服を大前提とした条件整備をはかります。

### 土地利用

農耕地は、苗場山ろく地域の開発をはじめとして優良農地を積極的に確保し、森林、原野では、今後、森林総合整備計画により積極的に植林を行うとともに、自然との調和をはかりながら自然公園の造成など観光、レクリエーション用地として開発を考えています。

### 交通通信網

来たるべき超新幹線などの高速交通体系に対応し、その経済的効果をも有効に活用するため、

## 答申をおえて

### 総合計画審議会々長 樋口 貢一



「まさに未来を 政治にみ

ぎる活力を」と、この若々しくはつらつとした政治への対応を旗じるに誕生した諸里市政は、新しい市づくりの構想をまとめられ、八月十八日に開かれた総合計画審議会に、十日町市総合計画基本構想(案)として、その内容について諮問、委員の意見を求め、更に二十八日に再度委員会を開き、慎重に審議を進めました。上程された基本構想

(案)は、市の将来図と施策の大綱について、およそ四十頁にのぼる長文なものであります。市長の政治理念が、新しい発想と、自主的な政策の調和のなかで、素朴な自主的な市民参加がうたわれ、特にうるおいのある人間関係、帰属意識の強いコミュニティのなかで、みんなが助け合っている。固有の文化を大事にしている。という人間本位の明るく豊かな市づくりを理念としてあげております。

審議会といたしましては、各委員が、それぞれの立場から、また市民としての立場から卒直にまじめに、質疑、意見をのべ、活発な討議を重ね、基本構想(案)

について、原案について一部の修正を加え、決定をいたし、同日市長に答申をいたしました。基本構想の期日は、昭和五十二年を基準年次とし、昭和五十五年を初年度、昭和七十年を目標年度としています。

総合計画審議会の答申を得た基本構想は、九月定例議会に提出し、議決を得、更に十一月末までに、基本計画を完了。以後五十五年度予算におこむため、実施計画書作成の手順となっております。

現実的には具体的な施策、計画的な内容を折込んだ基本計画が審議の過程のなかで、一番論議を呼ぶものと思われま

農業 米、畑作、養蚕、畜産、の四本柱で農業の振興をはかり

観光・レクリエーション 現在の本市の観光は、大井田城跡、鉢の石仏などの史跡が各所に点在しているものの確立された観光地を形成する

## 調和のとれた産業の振興

魅力ある定住社会の建設には、経済基盤の確立が大前提です。

本市の産業は、古くから地域の自然風土に密着して発展してきた織物と農業によって支えられてきました。今後も、本市経済の柱として両者の調和ある発展を促し、商業の振興とあわせて活力ある産業都市を建設するとしていきます。

林業 市域面積の六十%を森林が占めています

商業 商業では、商業近代化地域計画を策定し、これに基づき消費者の利便の向上と魅力ある商店街づくりを促進します。

### 水利用

人口の市街地区集中と生活水準の向上、道路無雪化、農業基盤の整備や畑地かんがいなどに

### 雪の克服と利用

雪に強い都市づくりを行い、雪を障害物としてのみとらえるのではなくこれを克服し、資源として活かす

民のなほろがりをもつ工芸コミュニティとも言うべき機能をそなえたきもの文化センターを設置します。

# 生活環境を整備

戦後、経済的な豊かさだけを求めてきた過程で、過密・過疎や環境破かい、公害といった問題を引きおこしてきたことは正し、自然と人間の調和や精神的な生きがいなどに十分な配慮をし、日常生活にとって欠くことのできない生活環境施設の整備を積極的に行います。

**上水道** 水資源が不足すると予測されるので、清津川ダム、六日町の三國川ダムを含めた広域水道の建設によって安定給水をするとしています。また、上水道給水区域以外では、簡易水道の整備を行います。

**下水道** 市街地区域内の公共下水道の建設を促進するとともに、市街地区域外では汚水共同処理施設の設置をし、公共下水道の整備によりし尿処理量が減少するので、し尿汲取事業の公社化をはかるとしています。

**住宅** 一世帯一住宅、一人一室を目標に公的住宅、民間自力住宅の整備をはかり、とくに市街地において都市の再開発や住宅の共同化をすすめる、よりのある環境の確保につとめます。

**公害** 発生源の未然防止、施設の改善、規制や監視指導体制の強化を行います。

**交通安全** 交通安全を確保す

るために、交通安全施設の整備や道路の機能、性格に応じた各種の交通規制を実施し、安全教育を行い、交通安全意識の普及高揚に努め、被害者の社会復帰のため被害者救済対策の強化をはかります。

**消防・防災** 建物の高層化、危険物施設増加などに対処するため、火災の予防対策の強化

## やすらぎのある市民生活

健康の増進と福祉の向上は、市民生活の基本です。

健康な生活を送るために、健康の増進、疾病の予防と治療、リハビリテーションを含む一貫した保健医療体制の拡充が求められています。また福祉の向上にあたっては、社会的に弱い立場の人達に温かいおもいやりのある施策を講じながら、個人や家庭の自助努力とボランティア活動など、市民の相互協力が必要だとしています。

### 健康の増進

健康を保持するために、栄養指導、健康教室などの充実をはかり、市民の健康管理のために予防接種、相談指導などの健康管理機能を積極的に推進するた

や消防施設の増強、組織の強化を行います。また、医療機関との連携をとりながら救急体制の確立をはかり

**防災対策**では水害、がけ崩れなどへの防止対策を施し、地域防災計画に基づき防災体制の強化をします。

## 基本構想について 私はこう考えます

### 森林公園の 早期完成を

張山 進三



私は、六箇地区の広聴会で、青年代表として発言する時、地域のエゴからでなく、五万市民の一人として、十日町市に何が必要かと考えました。十日町

には、幼稚園、小学生の遠足や家族づれ、若者のサークル活動等で利用できる公園がありません。そこで、森林公園計画を発表しました。その後この公園計画を進めるために、六箇地区の若者で、六箇地区推進協議会を結成し、毎月一日に行われる市民と語る日に、毎回参加して運動を重ねてきました。

市当局に要望を出しながらも我々ができる事は、我々でやろうと思ひ、会員一丸となって資料集めをやる事にし、埼玉県、愛知県、群馬県、そして県内の

先日も百名近い会員が、大和町の特別養護老人ホーム八色園を見学して来たが、近い将来を考えた時、ひとことではなく自分の事として考えて行かなければならないという実感が多かったようだ。家庭を守りお年寄のめんどうを見るのは婦人の役割である。しかし、その環境に恵まれないお年寄が年々増えているのが現状である。

### 福祉施設の充実を

河野辺久美子



総合計画に老人福祉の問題が取りあげられた事は誠に嬉しい。広聴会以来下条地区内でも特に、婦人の間で話題になるのが老人リハビリ施設の事である。

### 地域ダムの建設を

岡村 欣一



基本構想の中にある地域ダムの建設を具体的な施策として基本計画の中に折り込んで欲しいと考へます。

十日町市では、産業振興及び都市化に伴い、工業用水、農業用水、飲料水の需要が年々増大し、将来水資源の涸渇が心配

糸魚川市、小国町、角神の六カ所の森林公園を見学し、施設をカメラにおさめ、その写真と森林公園予定地の私たちの構想を市に提出してきました。今も六箇地区の若者と、塩ノ又部落のかたがたと一丸となって、この森林公園問題にとりくんでいきます。心配していた土地問題も、百三十坪の関係地主の深い理解と協力を得てスムーズに解決しています。この構想が、基本計画でより具体的にになり、一日も早く完成が待たれます。

(六箇地区推進協議会々長)

し、また行かせたくないという気持がある。ある会員が、田と畑と雑木林のこの広い敷地に我家一軒だけではもったいない。この辺に福祉センターができなかなあ」と夢を見ている様な口調で話していた。そうならば、ご夫婦でそこで働けるし、あなたがたの老後は安泰だわ」と早速同調する会員もいた。

脳卒中の発症は増えているが、死亡率は低下しつつある今日、総合的な福祉施設の充実を早急に進めてほしいものである。

(下条地区婦人会)

されていきます。現に消費パイプなど全く出なくなる箇所が見受けられますし、職場の事業用水も制限されることさえあります。雪を水資源として活用する方法を真剣に考へてはどうでしょうか。電力にして持つて行かてしまいうなど、都会ばかりに雪

種相談、就業の指導、リハビリなど総合的に利用できる老人福祉センターを設置します。また、広域市町村圏の中で、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームの建設を行うとしています。

# 個性豊かな人づくり

ゆとりと活力のある社会を実現するためには、物質的な豊かさや生活環境の整備などの条件が満たされるとともに、地域の特性を活かした文化社会の形成が必要になります。そのために学校はもろろん、家庭、社会、職場などあらゆる生活の場で、教育文化、体育活動を推進し、その環境整備をはかり、あわせて心のふれあうコミュニティの形成を積極的に促進する必要があります。

## 学校教育

小・中学校教育では、地域に根ざし、児童生徒の個性を活かした教育を進めるとともに、学校規模の適正化、危険校舎の改善など、教育施設の整備充実につとめます。

高等学校、その他の教育では、中学校卒業者のほとんどが進学を希望すると予想されるので、これに対応して広域的な観点か

幼児教育との調整をはかり、保育内容の充実につとめながら民間の社会福祉事業の誘導を進め施設の確保に努めます。

## 社会教育

コミュニティ施設としての機能をもつ公民館（地区館、分館）の整備をすすめるとともに、図書館、青少年研修センターの建設を行います。また、自然公園との有機的な結合のもとにハイキングコース、キャンプ場などの自然を利用したレクリエーション

ら施設の整備拡充をはかります。大学、専門学校については、織物産地の将来を展望した人材育成の必要性から、工芸大学、工芸専門学校誘致に努めるとしています。

市民総スポーツの実現に向けて、種目別団体の強化や各種スポーツ教室を開設し、あわせて指導者の育成に努めます。

体育館の建設を早急に始め、同時に学校施設の開放をすすめます。また、野球場、陸上競技場を中心とした十日町自然運動公園を建設するとともに、地域単位のコミュニティの場としても機能しうる運動広場の造成を行うとしています。

# 総合計画達成のために

総合計画達成のために、市民の一人一人が市政に対して積極的に意見をのべ、市づくりに参加できる体制づくりをすすめます。また、財政の見通しとあわせて計画実現への手順を明らかにし、それに基づき事業施行をしていきます。広域事務処理についても検討を加え、合理的な行政運営をはかるため、共同処理方式を中心とする広域行政を積極的に進めます。

ヨンの場を確保し、多様な学習要求に応えるよう教育内容の充実を努めるとしています。

## 社会体育

市民総スポーツの実現に向けて、種目別団体の強化や各種スポーツ教室を開設し、あわせて指導者の育成に努めます。

コミュニティの育成  
コミュニティが地域政策の基盤であるという認識にたつて、コミュニティ活動の育成につとめ、活動の拠点になる公民館、体育施設の整備をはかるとともに、それぞれのコミュニティが自ら行う施設づくりに対しても助成制度などの施策を講ずるものとしています。

新しい町内なので、いろいろのものを作り上げていかなければなりません。当然のことながら会議が必要で、回数も多くあります。こうして、いろいろの行事や仕事などを通してお互いに知り合い、だんだんまとまりのある町内になっていると思えます。町内の人達が気軽に自

のいいところを活用させてしまおうのではなくて……。市でも清津ダムの建設にも取り組んでいるようですが、もっと身近かに「水ガメ」を造って、市の水資源の安定供給をはかり、一層の産業振興、地域発展のために、地域ダムの建設が強く望

## コミュニティづくりに 具体的な施策を 実行

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

先月、私達の八箇産業青年部の研修旅行で川西ダムを視察しました。町クラスでもあのような悠長な事業に果敢に取り組み、立派になし遂げているのに驚かされました。

## 専門的な 体育指導者の配置を 關口 陽子

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

旭ヶ丘団地は、市街地周辺の新興住宅地です。十年ほど前より入居し始め、いまでは九十戸を超えました。独立した町内としてはまだ三年目です。

もうひとつ、産業振興の面から労働者、あるいは若者が、閑静で手軽に入手できる住宅を供給するための住宅用地の確保も具体的に考えていただければ、さらに明るい町づくりができると思えます。

（八箇産業青年部長）

構想がどのような方法で、どのようなペースで実現されていくのかに興味があります。

構想がどのような方法で、どのようなペースで実現されていくのかに興味があります。

構想がどのような方法で、どのようなペースで実現されていくのかに興味があります。

（市体育指導委員）

# 進んでいます 施設づくり

= 今市内でこんな工事が =

市では、住みよいまちづくりと市民生活の向上のため、いろいろな事業を進めています。いま、降雪を前にして、市内各所で行われている工事の内、市が重点的に取り組んでいる事業の一部を建設工事を中心にご紹介しましょう。



## 中条中学校体育館増改築工事

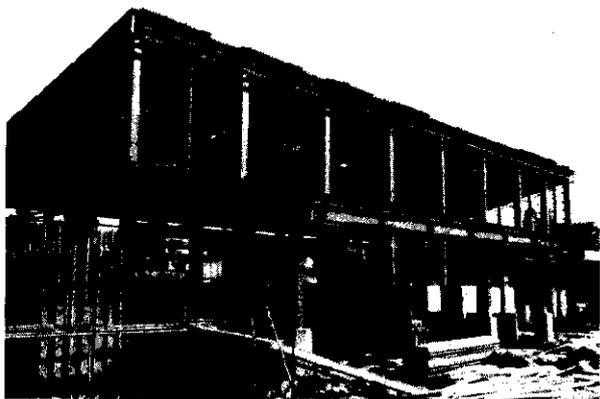
9月末に中条中体育館が完成しました。建築面積は、1,211㎡で、籠球コート2面、排球コート2面等がとれる設備です。今後は一般開放もする予定です。プールも7月中旬からの使用を開始しました。

冬期間の市民生活の不安解消のため、美佐島地区を対象として、赤倉に管理棟を建設中です。一階の車庫には圧雪機械(湿地ブルドーザー)を配備します。完成十月三十一日予定。



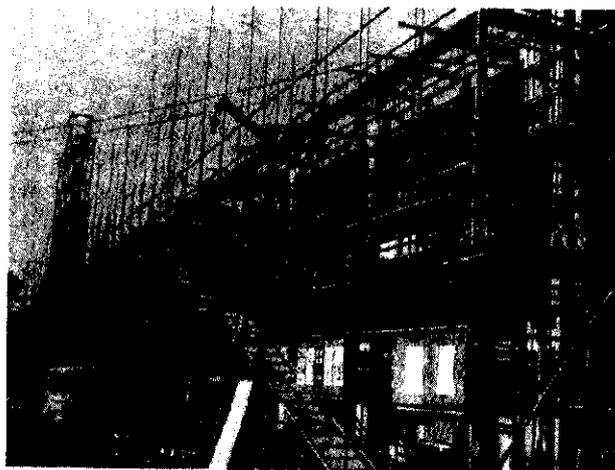
## 中央学校給食共同調理場

市内の小学校7カ校の完全給食化をめざし、四日町に共同調理場を建設中です。鉄骨造一部二階建、建築面積は750㎡。廃水処理施設を取りつけ雑廃水、汚水を浄化します。工期6月22日～12月20日。



## 市道太子堂池谷焼野線改良工事

昭和五十年から始められたこの改良工事は、五年目に入りました。第一次計画は焼野池谷入山間で、現在池谷部落内を工事中です。今までの延長千六百㍎。幅員六・五㍎。



## 十日町中学校増改築工事

54～55年度継続事業です。今年度は普通教室棟(19教室)が完成する予定になっています。来年度は管理棟、特別教室棟を建設。  
鉄筋コンクリート造3階建。5,489㎡。

**林道薬師線**

四十八年から工事が続けられている薬師線は、ことし十一月初旬に開通する予定です。権限山の山すそにそい、幅員四、総延長四千五百十。

権限山といったの森林資源の開発に大きく貢献するものと期待されます。



**十日町市就業改善センター**

北鑑坂に、農村地域工業導入特別対策事業として建設中。54~55年度継続事業で技術研修室、農業経営研修室、他産業研修室、就業改善相談室等が配置されます。鉄筋コンクリート造2階建。680㎡。

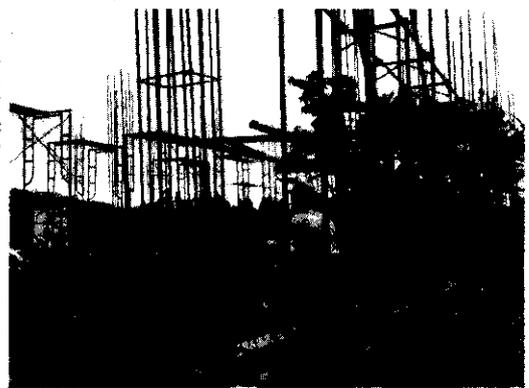


**下水道終末処理場**

58年度からの処理開始をめざし、8月から、下水道事業団による処理場の水処理施設の土木工事が始められました。

**水沢保育所建設工事**

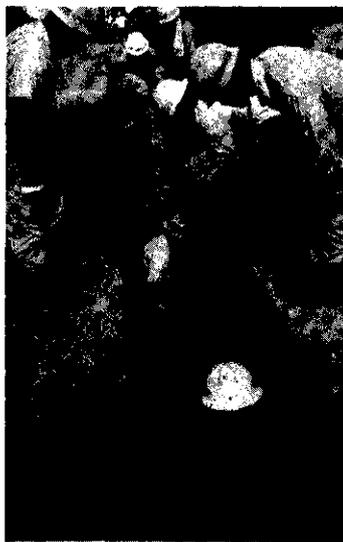
八月下旬から始められた水沢保育所新設工事は、着々と進み本体の骨組み作業が行われています。来年四月開所。



**昭和53年度下水道事業決算**

● 収益的収入及び支出 (単位 円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	191,574,480	営業収益	233,991,024
営業外費用	73,789,375	営業外収益	2,329,843
特別損失	84,796	特別利益	0
		小 計	236,320,867
		当年度純損失	29,127,784
合 計	265,448,651	合 計	265,448,651



鑑島地区簡易水道配水管布設工事

昭和五十三年度の水道事業についてお知らせします。五十三年度は、第三期拡張事業の第三年次にあたり、主な事業として、第五水源井新設、送配水管の布設、電気計装施設などを行ったほか、第三配水池二号池の用地買収を行いました。施設改良事業は、ポンプ及び各施設の修繕工事を行い、消火栓は寿町、高山、南新田町に各一基、本町七丁目二基を新設しました。なお、決算状況及び業務状況はつぎのとおりです。水道事業に一層のご協力をお願いします。



**水道事業のお知らせ**

● 資本的収入及び支出 (単位 円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
建設改良費	322,044,023	企業債	300,000,000
企業債償還金	13,990,592	負担金	2,269,685
他会計借入金償還金	10,000,000		
合 計	346,034,615	合 計	302,269,685

区 分	昭和53年度	昭和52年度	増減(Δ)	比率(%)
給水戸数(戸)	8,020	7,885	135	101.7
給水人口(人)	30,138	30,392	△254	99.2
年間使用水量(㎥)	3,263,689	3,168,664	95,025	103.0
1日最大使用水量(㎥)	15,681	15,967	△286	98.2
1日平均使用水量(㎥)	8,942	8,681	261	103.0
1戸年間使用水量(㎥)	407	402	5	101.2

● 昭和五十三年年度 給水業務の状況

(昭和五十三年四月一日から昭和五十四年三月三十一日まで)

# 体育館での勉強もあつわらずか

## 野中小学校



でっかいなあ僕等の校舎。はやくできるといいね。



写真にとられるのってちょっとてれるなあ。

ほんとに一生けん命先生の話を聞いているんですよ。



もうすぐ新校舎が完成



### 児童構成

- 1年生……4名
- 2年生……13名
- 3年生……2名
- 4年生……9名
- 5年生……4名
- 6年生……16名

野中、池沢、漆島、萩柄沢、大石、当間の子供達です。

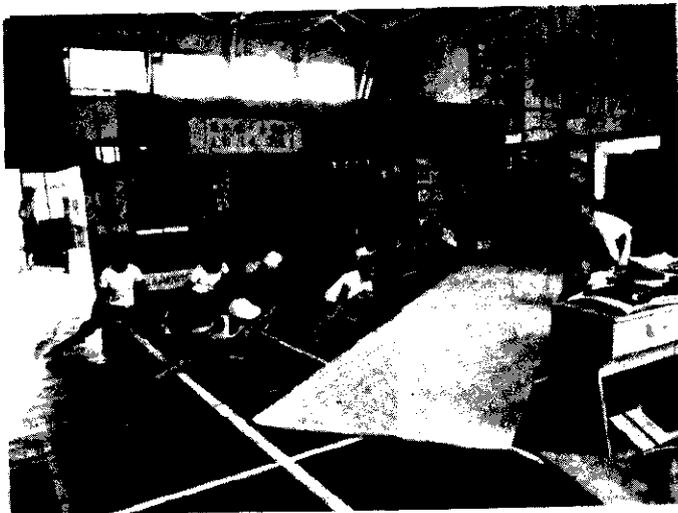
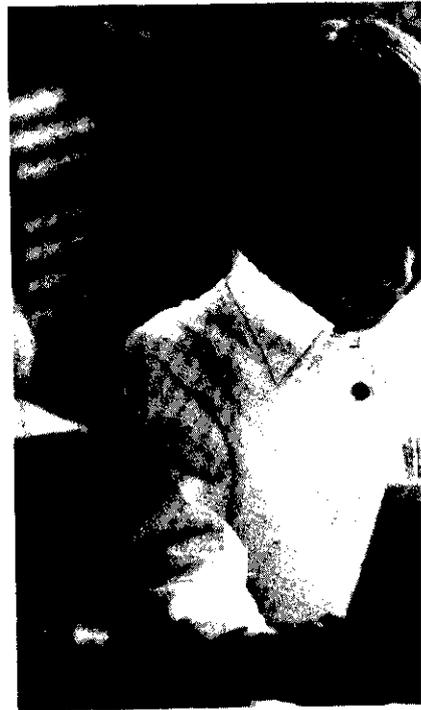


2年生は国語の授業中。奥に体育館の骨組みがみえます。

野中小学校（伊藤功校長・児童四十八名）では七月から校舎の改築工事が進められていますが、完成まで体育館を四教室にしきって授業が行われています。臨時の狭い教室ですが、子供たちは生々としてとても明るいのです。なぜなら、十一月初旬から新校舎での授業が待っているのですから。



正面玄関からこんにちは。横には傘立てが並んでいます。



3、4年生の体育はマット運動。準備運動はしっかりしなくちゃ!!



# さわやかな汗が光る

## 婦人体育教室



(西小会場)



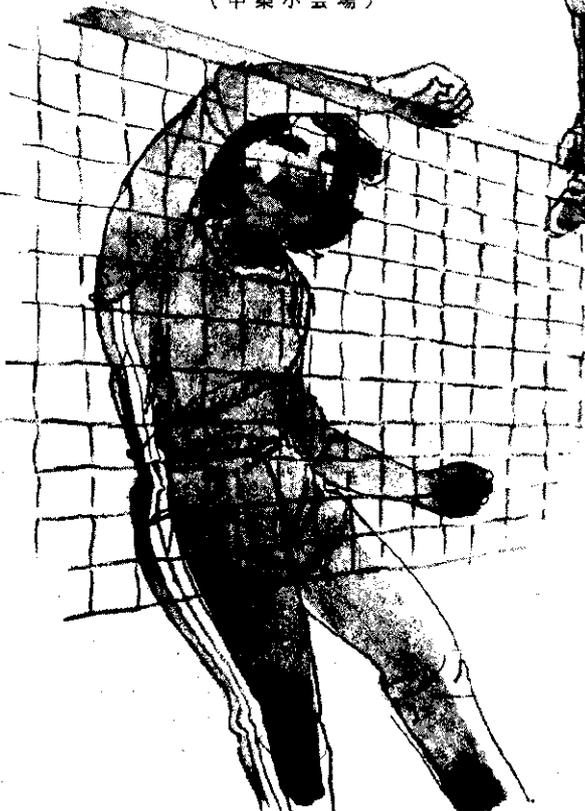
(中桑小会場)



「フン、ツー」そら頼むわよ」チームワークも抜群です。



毎週火曜日の夜、学校開放をしている市内の八会場にお母さんの歓声が響きます。婦人体育教室にさわやかな汗を流しているのです。  
日頃の職場や家庭のウサを吹きとばして健康づくりにはげんでいきます。火曜日の夜がくるのが楽しみです。素晴らしい仲間が「できた」とスポーツ賛歌の音が聞こえます。

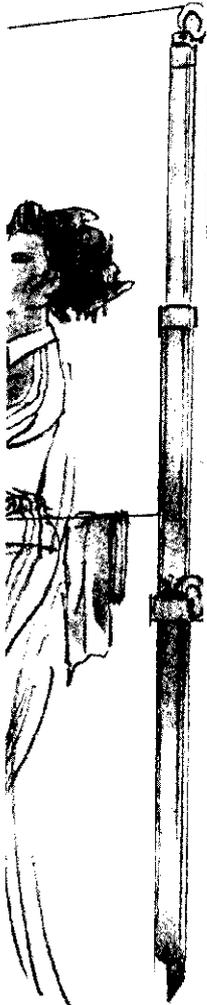


「サーブはこうするとうまくゆきますよ」体育指導員が熱心にコーチしてくれます。



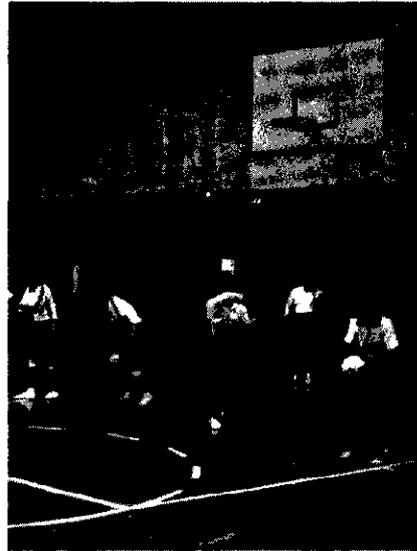
(中桑小会場)

アタックにレシーブに体がお躍ります。

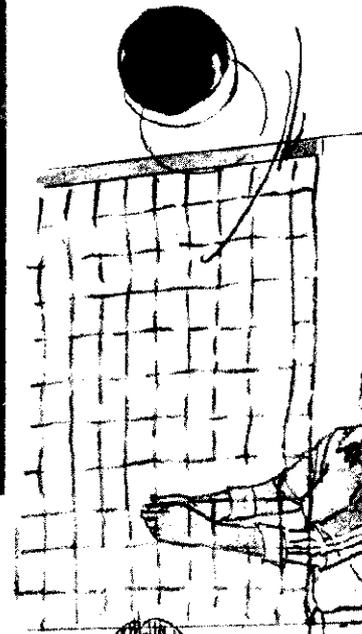




サーブ練習にも力が入ります。



(西小会場)



(南中会場)

「ママ！お水」今、忙がいんだから早く、早く」



毎週火曜日の夜七時半から、婦人体育教室を開設しています。会場は、下条小、中条小、西小市民体育館、南中、水沢小、鏡島小、吉田小の八カ所です。スポーツの秋です。家庭にとじこもりがちなあなた、婦人体育教室に参加してみませんか。



(西小会場)



# 市民相談室から

市報お知らせ版9月25日号でも紹介しましたが、市では、市役所に市民相談室(正面玄関を入ってすぐ左側)、各出張所、中条公民館にそれぞれ行政相談員が配置され、常時相談に応じています。

53年度の相談件数は268件で、相談内容は道路敷砂利、家庭問題、交通事故、市道補修、年金問題等多種多様にわたっています。

市に対する苦情、意見、要望等、その他心配ごとで困り、どこに相談して良いかわからない時などの相談の窓口として、気軽に市民相談室をご利用ください。

各種相談、照会に対し相談員で処理できないものは、担当課、あるいは国、県の機関へ処理の依頼をしています。

## 相談内容別件数の推移

相談内容	51年度件数	52年度件数	53年度件数
道路敷砂利	33	21	37
家庭問題	21	20	27
交通事故	48	33	21
市道補修	10	10	16
年金問題	7	6	16
国県道管理	3	5	16
民生福祉	30	16	15
遺産相続	39	38	14
市道除雪	29	27	8
市道災害復旧	14	17	1
その他	312	185	97
計	546	378	268

### こんなことは

市民の皆さんから、相談内容を理解していただくため、これまでに市民相談室によせられた事例をいくつか紹介します。

#### Aさんの場合

●長男(会社員・日給)が交通事故の被害者で、入院して二ヵ月にもなる。当直生活費に困るので、加害者に休業補償を要求したいが、要求額をどうしたら良いか……。  
◎事故前三ヵ月の総収入を九十日で割り、それに休んでいる日数を掛けたのが休業補償を要求する場合の標準になります。

### ありませんか

#### Bさんの場合

●Bさんの近所で甲さんが浄化槽の工事中である。将来甲さんの排水でBさんの前を流れる小川が汚れ、悪臭が心配されるかどうか……。  
◎担当課に浄化槽設置の届け出の有無を確認する。無届けであることが判る。担当課では、その日のうちに現地調査を行い、甲さんに届け出をするように指導する。甲さんに対する指導は、①浄化槽の設置には届け出が必要なこと ②届け出の際は、下流三戸以上の住民の同意書添付すること ③設置後は定期検査を受けること。Bさんにもその旨回答する。

#### Dさんの場合

●自宅玄関先のコンクリートが冬のブル除雪で壊され、いつまでもたっても修理してもらえないが……。  
◎県道のため土木事務所には照会する。土木事務所から早急に修理するという回答がありCさんにもそのように回答する。三日後にCさんより修理されたとの連絡があった。

#### Cさんの場合

●Dさんの隣に乙さんの土地があり、乙さんの立木の枝が境界を越えてDさんの屋根に覆いかぶさっている。そのためDさんの家では、屋根がいたむ、部屋に陽光が当たらない、アメシロが洗濯物や部屋の中に入って困っている。乙さんの立木の枝を切ってもらうにはどうしたら良いか……。  
◎乙さんの立木の枝切りは、乙さんとの話し合いを原則とする。

## 10月14日から行政相談週間

行政相談週間は10月14日(日)～20日(土)まで実施されます。当市では、つぎの日程で行政週間の行事を行いますので、行政に対する不満や意見要望をお待ちのかたは気軽にご利用ください。相談は無料、秘密は守られます。

### ● 合同相談

日時 10月17日(木) 午前10時～午後4時  
会場 市役所大会議室(4階)  
相談員 行政相談員・市行政相談員・市役所各課担当者

### ● 定例相談

日時 10月18日(木) 午前9時～午後4時  
会場 市役所市民相談室  
相談員 行政相談員・市行政相談員

が、法律(民法)には、Dさんの要求により乙さんは自分の費用で枝を切り取らなければならないことになっている。まず乙さんと話し合いをしてください。話し合いができない場合は調停制度もあることを説明する。

四月から九月までに相談のあった中で特に感じたことは、相談の窓口が広く、内容が複雑多岐にわたってきていることです。たとえば、市役所の市民相談室には、主に交通事故、相続、家庭問題等の市民生活に関連した深刻な相談が多く、そのほか市に対する苦情、意見等もありました。また出張所には、市役所事務の照会、市に対する要望等の行政相談がありました。

これらの相談処理にあたり、相談員だけで処理できない内容のもの、市の担当課も相談に加わってらっしゃいます。国県に連携した行政相談では、国県の出先機関に処理を依頼し、後日相談申出人に回答しています。

また生活相談では、ケースごと処理方法、手順のほか、他の相談機関等の紹介も行い、処理にあたっています。

今後とも、多くのかたが市民相談室、各出張所の行政相談員を気軽に利用していただきたいと思っております。



市議会の動き

収入役に樋熊氏を再任 総合計画基本構想を議決

市議会第3回定例会は、9月17日から26日まで10日間開催されました。

この議会では、収入役に樋熊良作氏を再任、昭和70年を目標とした十日町市総合計画基本構想を議決し、昭和54年度一般会計、特別会計予算等44議案(請願16件、陳情4件、意見書2件を含む)が審議され、38議案が可決、採択されました。

なお、国民健康保険制度の改善について、右社関連製品の供給、価格安定についての2件の意見書を議決し、関係省庁に提出することとしました。

また、市政についての一般質問は8名の議員が行いました。今議会で審議された主なものはつぎのとおりです。

■収入役の選任 9月19日任期満了に伴い、

樋熊良作氏を再任

■教育委員会委員の任命 9月30日任期

満了に伴い、林正氏を再任

■固定資産評価審査委員会委員の選任

9月30日丸山銀一氏任期満了

に伴い八島勉氏を選任

■54年度一般会計補正予算

1億2,833万6千円追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ82億1,541万3千円となりました。歳出の主なものは就業改善センター建設費、武道館設計委託料等です。

■十日町市総合計画基本構想の改訂 総合計画基本構想の改訂案を議決

■一般質問の主な内容

金子幸造議員(十日町公園について、コミュニティセンターの建設について)

佐藤利雄議員(石油対策について)

上村仁平議員(生活環境について)

佐藤一男議員(苗場山ろく建設事業について、雇用対策について、過疎対策について、障害者の環境づくりについて、町名の標識について)

南雲金一議員(市街地行政について、スポーツ振興について、エネルギー問題について)

小杉清一議員(中小河川対策、信濃川対策)

水野寛男議員(産地振興計画について)

佐藤勝巳議員(交通問題について、精神障害者の社会復帰について)



樋熊収入役



市長を先頭に街頭募金

10月1日から年末まで、赤い羽根共同募金が実施されていますが、運動初日の10月1日午後、本町通りで街頭募金が行われました。道行く人達は足を止め、快よく募金箱に寄付を入れました。

国土調査は市づくりの礎

図は明治の初めに地租をとるためにできたもので、測量技術の幼稚さと長い年月を経たため、今ではまったくあてにならない。大切な土地の境界争いの

市では、より良いまちづくりのため、様々な計画をたてていって、そのためには基盤となる土地の実態を正確に把握しておく必要がありま

原因になっています。地籍調査は、正しい測量によって新しい地図と帳簿を作り、皆さんの土地の正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにするための調査なのです。地籍調査は基準点測量から測量技術が確立されたり、道端に石を埋めたり、木杭を打ったりして測量している所を見られたことがあるでしょう。これは、基準点測量と違って、その地点が地球上どこに位置するかを測り、地図を作る骨組みとなるものです。

その時埋めたコンクリート杭や木杭は今後の測量のものになりますから、抜いたり、場所を動かしたりしないでください。どうしても支障になる場合は、届出して指図を受けてください。

お米は国内で 百割自給

新潟食糧事務所 十日町支所



シリーズ 610

食生活の洋風化に伴って、小麦、大豆、飼料穀物等の需要が非常に増えましたが、これらの作物の国内生産は、逆にたいへん減ったので、その不足を補うため、今では世界一の穀物輸入国となりました。しかし、お米は百割自給できます。生産技術が発達して、今では多少の天候不良等があっても、生産に心配はありません。お米を中心とした食生活は、日本人にとって最も不安の少ない食糧対策です。

配給制度と自主流通米 お米は現在食糧管理法により、政府の手で管理されています。配給米には、政府が生産者から買い入れて米穀卸売業者に売り渡す政府管理米と、生産者団体と米穀卸売業者とが政府の承認を得て、直接取引する自主流通米とがあります。自主流通

米は「おいしいお米」を求める消費者の声に応えて作られたものです。政府管理米も自主流通米も、取引きの公正円滑を図るとともに、その品質の改善、向上に資するために、食糧事務所検査官による検査があります。

種類と原料米 お米の品種はたくさんありますが、その中から「うまい米」について、農林水産省は毎年産地品種銘柄を指定しています。五十四年度米については、本県関係分は、コシヒカリ、越路早生、越みのり、ホウネンワセ、トドロキワセの五品種が指定されましたが、銘柄米といわれるものです。ちなみに、十日町市の五十四年度産の品種別作付面積(うるち米)は、コシヒカリ四十九割、越路早生九割、トドロ



キワセ二十六割、ホウネンワセ五割で、その他品種は十一割に過ぎません。これらの銘柄米の多くは、自主流通米になります。一部は政府に売渡されます。

# 博物館 秋期特別展

## 菊と刀展

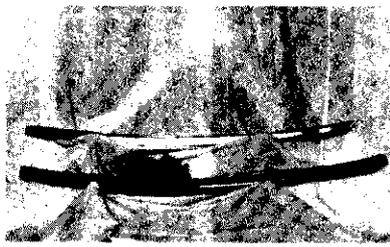
10月27日～11月4日

日本刀は、日本民族が完成した最も優れた鉄の文化財と言われています。

武器として生まれ、戦闘法の変遷や時代の推移にともなって発展してきた刀剣は、また美術品としても広く愛好されてきました。

博物館では、一日町美術刀剣愛好会の協賛をえて、近在の愛刀家の蔵刀を集めて展示し、日本刀の変遷を追いつその美を紹介しようと、この特別展を企画しました。

また、市内で大菊づくりにとり組んでいる秋香会の皆さんの



協力で、秋をいろどる菊の鉢づくりも多数展示され会場に花をそえます。この刀と菊の美を心ゆくまで鑑賞してください。



日本刀ができるまで（焼入れ）

会場：十日町市博物館  
2階特別展示室  
内容：古刀から新々刀まで約30点その他、槍、刀装具、馬具など大菊の鉢植多数  
入場料：無料  
お問い合わせは ☎ 7-5531番

### おの時のながはが

シリーズ No.7

十日町橋竣工  
大正13年10月5日



工事中の十日町橋

十日町橋が架けられたのは、大正十三年十月五日の竣工であり、いまから五十五年前のことになる。

#### 四十歳からの心の健康を考えよう

近年、人間関係はますます複雑多様化し、精神衛生上の諸問題が大きククローズアップされています。新潟県精神衛生協会魚沼支部では、第三回心の健康を考える住民会議を開催します。気軽におでかけください。

期日 十月三十日(火) 午前十時～午後三時

会場 十日町市役所 大会議室  
日程 午前——記念講演 小出病院精神科医長 本田建一先生 午後——公開討論「四十歳からの心の健康を考える」

詳しいことは、十日町保健所(☎七二四〇〇番)へ。



むかしは、戦略上の理由から川に橋を架けるのを極端に禁止したので、いずれも徒渡り(かわわたり)といって、適当に投げこんでおいた大石の上を、上手にわたって行くより他に方法がなかった。

信濃川のように大河ともなれば、渡し船で川を越すのが唯一の連絡方法であるけれども、一度水かさが増したら、船止めになっってしまう。船が転覆して大勢が死んだ例だってみなくなかった。

明治中頃から、ようやく道路整備がはじまり、岩沢と時之島を結ぶ船橋が明治四十一年に正式架橋されて、魚沼橋と名付けられ、また、長野県境の官野原橋の完成は、これより先きの明治三十年であった。

中魚沼郡の最南、最北端にあるだけでは、肝心の郡内交流はできない。何とかして、中央部に橋が欲しいという声が、全郡民の悲願として日ごとに高まって来たのは当然である。

初代中魚沼郡長をつとめた、岡田竜松氏(中条)は、すでに七十歳をこえる高齢であったけれども、早くから十日町橋建設の構想をもち、内外の情勢を眺めながら、機運の熟するのを待っていた。

願望の高まりを見て、遂に時至れりと判断し、休むことなく実現のため精力的な運動を続けていった。

川東、川西地区の協力本制をつくるため、吉田山谷の素封家酒井留五郎氏を訪れた様子は、むかしながらの庄屋の格式をそのままに「挨拶や長持はじめお供の人たちを全部渡し終わるに、およそ一刻(いまの二時間)近くもかかったもんだ」と、その豪勢さは、いまも孫左衛門渡しに伝えられている。

建設運動が、ようやく軌道に乗った大正二年には、惜しくも竜松は亡くなったが、その遺志はそのまま郡民全体のものとして引き継がれ、待望の完成を得た。

長さ六百十二び、総工費三十四万円、別に取付道路が二十万円。地盤不良と洪水に悩まされながら、三年九カ月の工期であった。

中魚沼郡の、あたらしい時代が切りひらかれたわけである。

(上村政基)



盛大に  
関東甲信越  
放送教育大会

九月二十七、八日の両日、十日町小を主会場に、第三十回関東甲信越放送教育研究大会が開かれました。この大会には、一都九県から千五百人の会員が参加し、「意欲的な人間の育成に、放送が果している役割と成果を明らかにしよう」をテーマに、五部門、二十六分科会にわかれて、熱心な討議が行われました。

新潟県技能検定協会では、生産の第一線に働く技能者の技能と、社会的地位の向上を目的として技能検定を行います。また、この実技試験に併せ、新潟県技能五輪全国大会予選会が行われます。受験申請受付は十月八日(月)～十月十九日(金)までです。申請手続など詳細は県技能検定協会(千九五一新潟市川岸町一四八八、まるえビル内、☎〇二五二二二二二五五番)へお問い合わせください。

# 第5回 市民芸能祭



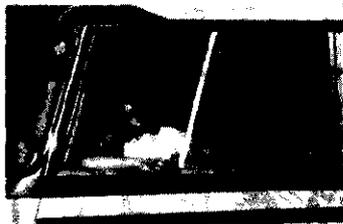
期日	時間	発表	発表団体
10月23日(火)	夜 7時～9時	唄と踊りの宴	●多賀仙会(タカノリカイ) ●寿雪の会 ●十日町民謡研究会
10月26日(金)	夜 7時～9時半	郷土芸能と民踊の夕べ	●美野里会(イヅミカイ) ●好津美会(仙会) ●中飛渡民謡愛好会 ●新保大寺保存会
11月1日(木)	夜 7時～9時半	競演// 舞踊と三味線 詩吟と剣詩舞	●大井田踊会 ●高泉栄会 ●詩吟神島十日町支部 ●喜泉会 ●三日町婦人会民踊部
11月10日(土)	夜 7時～9時	剣舞と民踊(謡)の祭典	●一城之古民謡会 ●吟吟民謡部 ●中

只今、演劇祭を企画中。ご期待ください。十日町市公民館(☎7-5011番)

## 自動車文庫

# こだま号

## 同乗記



## こだま号

今年の夏、二週間の司書の実習を十日町市公民館図書室でやらせていただき、そのひとつとして、五回ほど、自動車文庫「こだま号」に乗りました。

「こだま号」が市内を巡回していることは知っていましたが、私自身は一度も利用したことはなかったのです。それで、「こだま号」に乗ることになった時、学校の授業のスライドで、この山地のことか、と見た。自動車文庫に乗ることになり、あれはもしかしたら十日町のことだったのかと思いつつ、果してどの位の利用者があるのだろうか、興味深く思いながら乗ったわけです。

今年で、巡回を始めて五年という「こだま号」は、常時、千五百～千二百冊の本を積載し、市民の人たちに、一人一回二冊づつ、無料で貸し出されているのです。

昨年、延一万四百人のかたが「こだま号」を利用し、一万八千二百冊の本が貸し出されたという事です。

この抽象的な数字も、回「こだま号」に乗ってみると、なかなかたいへんな数だと思ってしまう。

夏の真盛り。車内最高気温三十七度C……。これまでの最高気温は四十度Cに達したことがあったとか。そんな話を聞きながらステーションに到着。

もちろん、コースによって、ステーションによって差はあるのですが、「こだま号」がステーションに一回停車するたびに、すきまなくうまつっていた書架、なんとも、涼しそうに空くのです。そして、次のステーションにはすでに、今やおそしと待ちかまえている子供たちがいて、「こだま号」を見つけると、跳びはねて喜んでくれるのです。これで、暑さも何も吹き飛ば感です。

また、図書室における貸し出し事務と違い、利用する側と、利用される側に親近感があり、挨拶を交したり、話をしたり、スイカやメロンの差し入れがあったり。

このように、ただ本が貸し出されてゆくだけでなく、地域社会の人たちと、あたたかいふれあいがあったことも、とても良い体験でした。

世帯数が少なく利用人数の少ない山の中では、停車時間の三十分が長く感じられるような所もありました。しかし、「こだま号」を心待ちにしてくれていることは変わりありません。

また、雨が次第に強くなってきたのにもかかわらず、子供たちが列をなして待っていてくれる程の夜間コース。

利用人数の実態は、私の予想をはるかに超えていました。図書施設のない僻地での「こだま号」の重要性。読書が生活の一部となっており、このカステラトーンの「こだま号」が市民の人たちに親しまれ、利用されているということがよくわかります。これからも市民の人たちに親しまれ、さらに多くの人たちに利用していただきたいと思っております。

(東横学園短期大学二年 関谷明子……川治下町)

# 市職員(保母・保健婦)を募集

昭和五十五年四月一日採用予定の市職員(保母、保健婦)をつぎのとおり募集します。

**受験資格** ①中級(保母)保母資格を有する人(昭和五十五年三月末日までに保母資格取得見込みの人を含む)で、昭和三十年四月二日以降に生れた人 ②上級(保健婦)保健婦資格を有する人(昭和五十五年三月末日までに資格取得見込みの人を含む)で、昭和三十年四月二日以降に生れた人

採用予定人員 いずれも若干名

**試験方法** ①第一次試験 教養試験(国語、社会、数学、作文) ②第二次試験 第一次試験の合格者に対し、口述試験を行う。

**試験の期日と場所** ①第一次試験 昭和五十四年十一月十日(土) ②第二次試験 昭和五十四年十一月十五日(土)

なお、今年度は、この他の職員の募集は行いません。

## 下水道工事現場の危険防止にご協力を

現在、下水道工事第1期計画区域内の20カ所現場の建設工事も着工しました。

工事現場は危険です。通行の場合には十分ご注意ください。

特に終末処理場は、広い面積を深く掘きくしており、常に重機械が動いて非常に危険です。建設現場には絶対に立ち入らないようご協力をお願いします。

## 魚沼スカイラインの交通規制

現在魚沼スカイラインは、国道253号線から十峠までの19kmと国道17号線芝原峠から大峯山頂展望台までの8kmが通行できますが、危険防止のため、スカイライン開発組合では、つぎのとおり交通規制を呼びかけています。

**車両の規格** 大型貨物自動車及びバス(定員29人以下を除く)の通行禁止  
**速度** 一般30km(1部下り20km)以下  
**夜間の車両通行禁止** 午後6時～午前6時まで

## ●今月の納税

市町村民税  
国民健康保険料第四期

納期限は十月三十一日

市税の納付は便利な口座振替で、市内の銀行、農協の窓口で受付けています。



**自衛官募集**

防衛庁では、二等陸海空三及び各種の募集を行っています。十八歳から二十五歳未満の男子で希望されるかたは、市・市民課(番七三三一一番内線二二〇)または自衛隊長岡出張所(番二五八八三三三〇二五六番)へお問い合わせください。

**電波障害一掃運動**

新潟県テレビ・ラジオ電波障害一掃運動のモデル地区として十日町市が選ばれました。

**寄付ありがとう**

つぎの要項で相談所を設置します。テレビ・ラジオ等の電波障害でお困りのかたはこの機会をご利用ください。

日時 十月二十三日・二十四日 午前九時半～午後三時半  
相談所設置場所 東北電力十日町営業所前(本町三丁目)

## 年金時代⑦



突然の事故で、両手の指切断... 痲疾すると障害年金が

前回は話した母子年金とならんで、いま生きている「あなたへの保障に障害年金がある

る。災害はいつやってくるかわからない。一家の大黒柱として働いていても、病気が思わぬケガで一牛働けない体になったら、市内に住むAさんは、腕のいい大工だったが、この五月、機械のちよつとした操作ミスで両手の指を切り落としてしまった。Aさんは救急車で病院に運ばれ手術を受けたが指は元にはもどらなかつた。一般の身体障害者である。むろん、一人親方のAさんにとって手が思うように動かないことは、致命的である。小さな工場も閉鎖せざるを得なかった。収入もないので、A夫人はパートで勤めることになった。その勤め先で、障害年金がおりることを知り、市民課国民年金係を訪れた。Aさんは家内工業の経営者だから、国民年金は強制加入のグループ。幸い、国民年金制度ができた三十六年からの加入者だ。保険料の滞納がない。障害年金の一般に該当するので、直ちに年金がおりることになった。Aさんが貰える障害年金は、年五十九万二千五百円である。Aさん夫婦もようやく生活のメシがたつようになった。

障害年金は保険料完納がカギ

障害年金がもらえる条件は、国民年金に加入してから一年以上経過していること。初診日の一年前の保険料が完全に納められていること。二条件がなければダメ。たとえ、何年も保険料を納めていても、初診の前に滞納があると障害年金は一切もらえないから注意が必要です。国民年金保険料の納人は、地域の納付組織か口座振替方式(市中銀行か農協に申込月紙がありま)が便利です。

**社会福祉事業へ**

▼ポリースカウト十日町一団 二万八千九百六円 ▼根津智子(本町六の三) 千二百十円 ▼春川(新座第一) 五千円 ▼富井喜雄(土市) 五千円 ▼福崎秀雄(田麦) 一万円(香典返し)

**おとがまち**

○市総合計画が決まりました。自然公園、コミュニティ、市民参加の市政を重点にした構想です。市民参加の市政を進めてゆくとともに、市民と市のパイプ役として広報、広聴活動の重みを痛感しています。中広いご意見を寄せてください。

○今月号は広報協力員の庭野泰明さん(八・九P)、鈴木蘭さん(十・十一P)に活躍していただきました。表紙は青年学校の内藤礼子さんのイラストです。